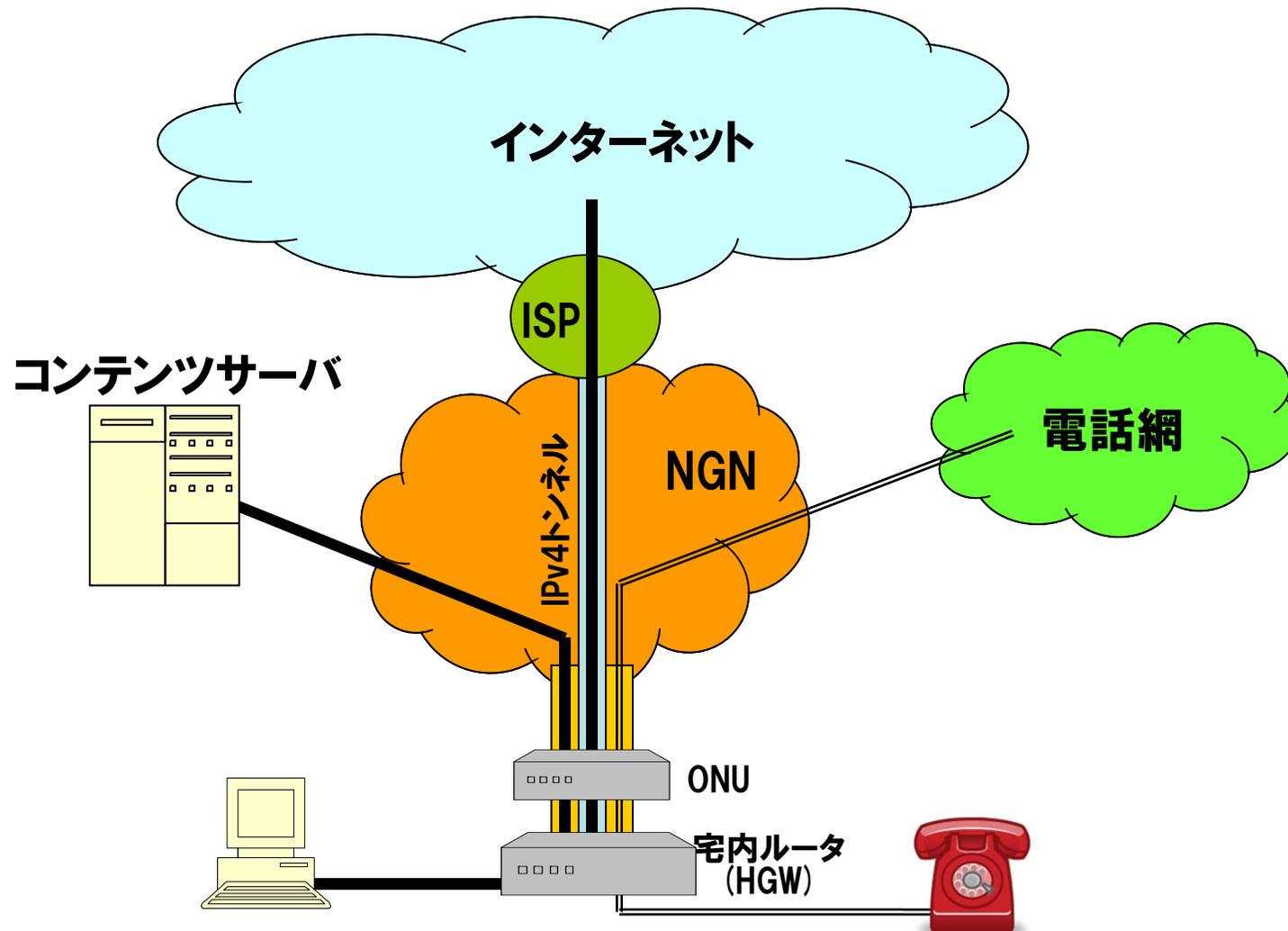


NTTフレッツネクストのアーキテクチャ

- 一つのアクセス回線、一つのコアネットワークで、インターネットへのアクセスとコンテンツ流通、電話サービスのための閉域ネットワークを構築している

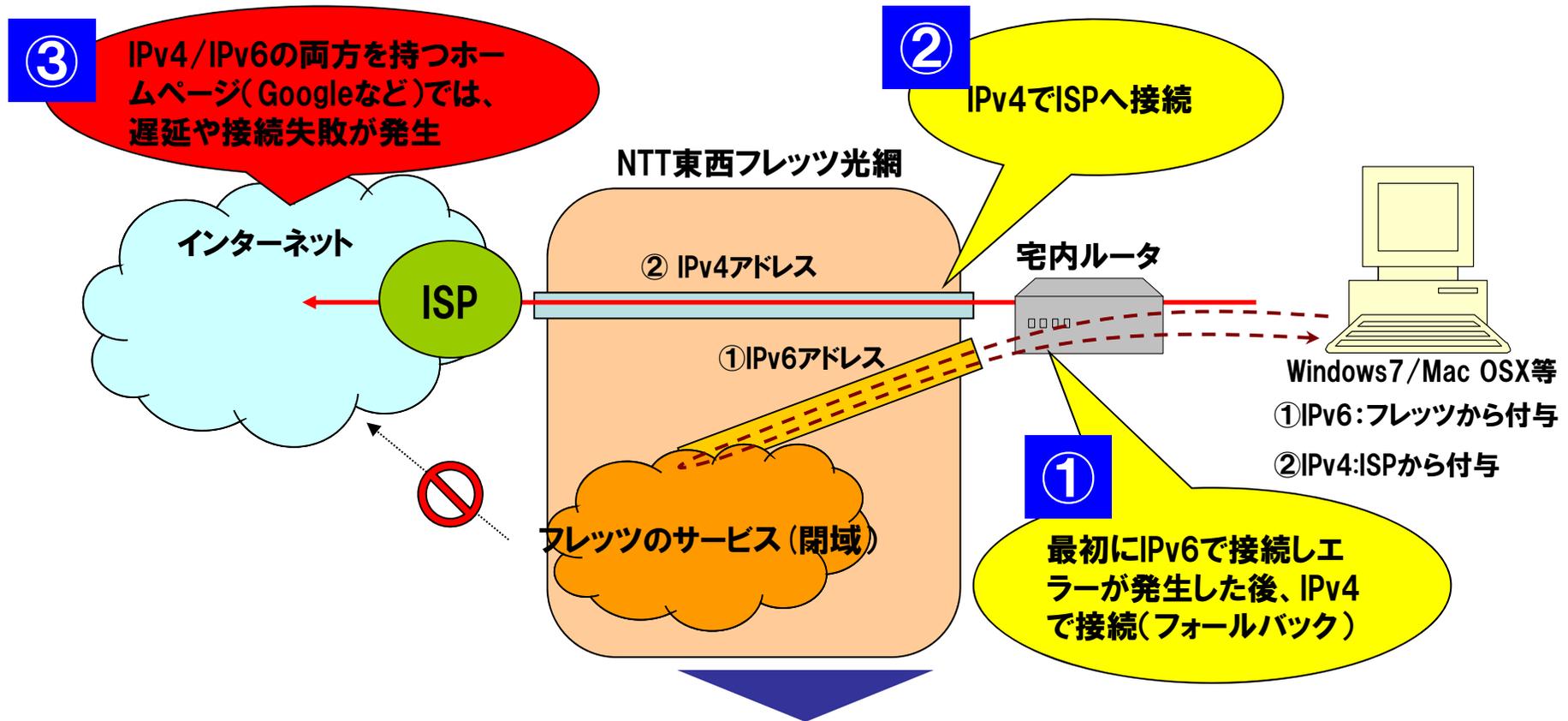


IPv6-IPv4フォールバック問題

■ フレッツ光(NGN)のネットワークの問題

⇒ IPv6を用いたウォールガーデンサービス(閉域網)であること

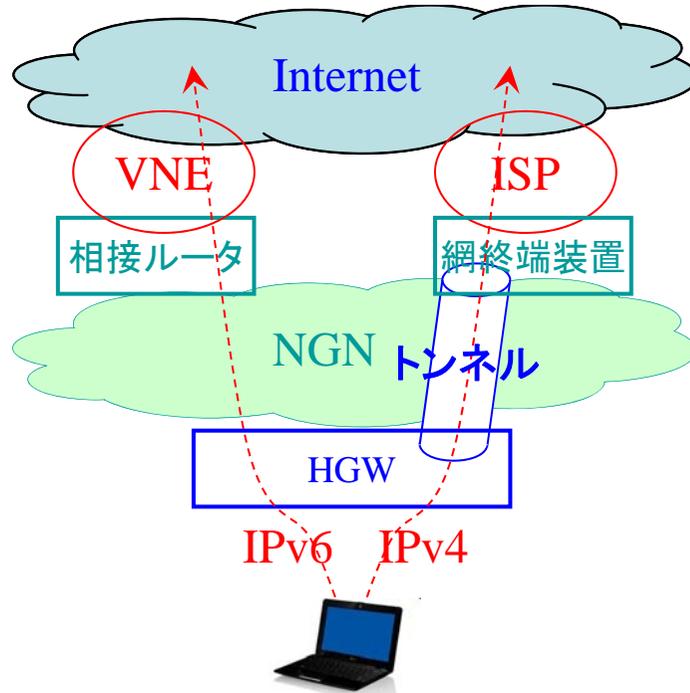
□ IPv6対応端末(Windows7やMac OSX)から、IPv4/IPv6に対応したWebサイトに接続する場合



電話網とインターネットを統合したNTT独自仕様

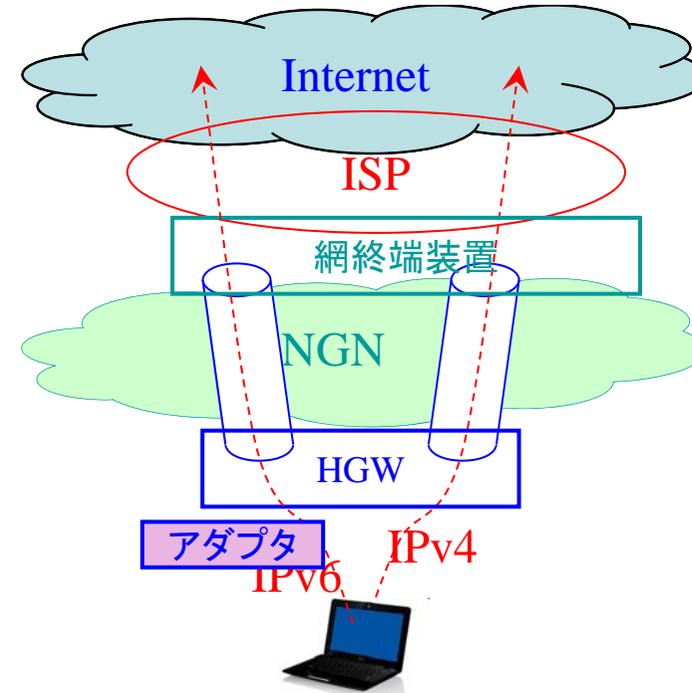
フレッツ光におけるIPv6提供方式

IPoE方式



- 主としてローミングを受けている向け
 - VNEは3社のみ
 - YahooBB、@nifty、Biglobe、au one net
- 申し込みが複雑
- IPv4とIPv6の提供責任者が異なるために、トラブルシューティングが困難
- VNEのPOIは東阪1カ所ずつ
- IPv6はカプセル化しないので一般的に性能は高い

PPPoE方式



- 自前ネットワークを持っているISP向け
 - OCN、So-net
- ネットワーク構築と運用の自由度が高い
- 特殊なホームルータが必要
- 共存のためにNAT66機能が必要